

姓	名	題目 (Main Title)
相澤	真一	御柱祭の役職の規定要因から見る文化資本と政治
相澤	亨祐	新聞報道が児童虐待の「発見率」に与える影響
合場	敬子	化粧実践による女子高生の身体構築
青柳	みどり	気候変動問題に対する国民の認識：時系列による分析
赤羽	由起夫	殺人事件のニュース価値に関する研究
秋谷	公博	廃校舎を活用した住民主体によるまちづくりに関する研究
明戸	隆浩	アメリカにおけるレイシャルプロファイリングの成立と展開
浅川	達人	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究2023 (1)
阿部	晃士	人びとがイメージする「環境問題」は何か？
荒牧	草平	教育態度の継承における性差と階層差
飯島	幸子	ベルリン・フンボルト大学社会科学者が経験したドイツ統一
飯田	奈美子	手話通訳を介したコミュニケーションにおける通訳者のはたらき
五十嵐	素子	エスノメソドロジー・会話分析を用いた国内授業研究の現在と今後の課題
井口	高志	1980年代以降の日本社会における認知症予防の論理
池田	恵子	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究2023 (3)
池田	裕	自己表現重視の価値観と科学への信頼
石田	賢示	マルチタスキングと時間の圧迫
石田	浩	3世代調査の概要と世代間学歴継承のパターン
石原	英樹	出会いメディアから見る親密な関係形成の現在
泉	啓	嗜癖問題の製薬化をめぐる一考察
磯	直樹	社会空間と視覚芸術空間の構築
市村	高志	原発事故からの復興における富岡町民の生活と将来に関する意識調査(4)
伊藤	勇輝	共同生活を送る運動部員のジェンダー規範
稲葉	年計	アクセル・ホネットと市場と機能分化
井上	慧真	英国における若者政策の多様性
岩井	紀子	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2023 (5)
岩館	豊	都市交通インフラにおける空襲被害の予期と防空・復旧
岩本	健良	青少年保護育成条例・施行規則における同性愛への差別的条項をめぐる状況
WILKINSON	Karl Everal	The Paradox of Modern Jamaican Education and the Perpetuation of Class Inequality
牛山	美穂	身体と薬をめぐる「共約不可能性」
内田	龍史	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究2023 (2)
梅村	麦生	地方都市における地域産業を支える外国人労働者
江成	幸	三重県における外国人につながる高校生の増加と教育支援の課題
及川	怜	育児中の共働き世帯における在宅勤務の有用性
翁	康健	マレーシア華人はいかに民族間の壁を乗り越えるか
王	昊凡	「コロナ禍」期において飲食店の事業継続には何が役立ったのか
大久保	将貴	データ分析におけるモデルの不確実性
大久保	元正	地方都市における地域産業を支える外国人労働者
大崎	裕子	階層間信頼の構造
太田	有子	地域の産業資源のガバナンスと持続可能性
大山	小夜	行政の多重債務対策は行政に何をもたらしたか
大和	冬樹	近隣効果研究における合成変数と因果推論の問題
岡崎	宏樹	分人主義から社会学へ
岡部	悟志	家庭背景と小中移行期の学校適応
岡村	志以	手帳とは何か
岡本	武史	日本における労働安全衛生行政の抑制的介入に関する研究

姓	名	題目 (Main Title)
小川	和孝	教育政策の公的支出の増加に対する意見の国家間・国内変動
小川	豊武	「曲がり角の時代」における若者の再帰的ライフスタイル(4)
尾川	満宏	地域的な働き方・生き方をめぐるフィールドワーク調査から見えてきた倫理的課題
荻野	達史	精神医療化と法化
小澤	昌之	大学生の知識習得度と教育格差の関連性
小田	和正	A Study on Happiness and Well-being Indicators in Local Governments in Japan
落合	仁司	ラカンの経済学
小笠	功貴	メンズリブにおける女性参加者を交えた話し合いのジェンダー論的考察
小野寺	修	散住地域における外国人住民の受け入れ
恩田	守雄	南洋群島の互助慣行—マーシャル諸島を中心に
魁生	由美子	地方における在日コリアンコミュニティの縮小と再編
歸山	亜紀	確率的オンラインパネル構築の試み (2)
香川	めい	若年期のキャリア履歴と恋愛、結婚経験
笠井	敬太	小児がん経験者の病における主体性
檉田	美雄	『走れメロス』の社会学
片上	平二郎	アドルノの演劇的 sociology
片桐	勇人	過疎化する都市近郊農村における地域差の分析
加藤	倫子	ゲートキーパーは調査者と調査対象者にどのような影響を与えているのか
金澤	悠介	福祉国家の変容と「新しい」リベラル
金光	淳	ソーシャル・キャピタル論の批判的再構築を目指して
加野	泉	スウェーデンの性教育における学校と相談機関との連携
上林	千恵子	地方圏における外国人労働者の受け入れ (1)
上村	泰裕	インフォーマル雇用に立ち向かう社会政策の構想 1) 研究の概要と国際比較からの考察
神谷	穂香	セックスワーカーはいかにして主張してきたか
神山	英紀	男女賃金格差縮小による未婚化の進行と終焉
河合	恭平	官僚制論を用いた「悪の凡庸さ」概念の批判的考察
川北	眞紀子	企業の芸術支援の役割
河田	純一	社会問題としてのがん—がん対策推進協議会における医療的問題からがん患者の生活の問題への再構成過程の分析
川畑	智子	職場のコミュニケーションと情報リテラシー
河村	裕樹	リエゾン精神医療における多職種協働を可能にする実践上の手立て
神林	博史	現代日本における社会的排除感
雁部	那由多	共有地の意義の歴史的変遷と地域の生業のかかわり
菊池	哲彦	国土を表象する
木島	由晶	「曲がり角の時代」における若者の再帰的ライフスタイル (3)
金	希相	民間賃貸住宅に居住する外国籍移民の居住地選択
木村	裕貴	親の離婚タイミングが子どもの離婚に及ぼす影響
木村	豊	都市の社会的な「問題」としての戦争
木本	玲一	太平洋戦争中の日本のボクシング界に関する考察
清原	悠	出版流通の自由は「ヘイト本」の流通を許容しうるのか
桐谷	詩絵音	都市空間における集合現象としての抗議行動
金	思穎	東日本大震災後のコミュニティの防災活動の変化とソーシャル・キャピタル
金南	咲季	移民きょうだいにおける教育達成の分岐
具	弦俊	韓国社会における非熟練外国人労働者の心理的統合
櫛原	克哉	大学の学生相談・カウンセリングにおける「心理学化」の考察 心理職を対象としたインタビュー調査から
久保田	裕之	「曲がり角の時代」における若者の再帰的ライフスタイル(5)
栗栖	瑞季	大衆的スピリチュアル実践の当事者の価値

姓	名	題目 (Main Title)
高	思雨	「百合妄想」の形成と発展
小島	宏	英国のムスリム若者におけるコロナ対応行動と宗教関連行動
兒島	峰	21世紀における主権のあり方と国民国家の変遷
後藤	美緒	戦時期における娯楽の位置
小西	凌	親子間葛藤が努力有効感に与える影響
小西	優実	性別移行医療を利用する人々の語りから見える診断プロセスの「ベルトコンベア」の諸相
小林	和夫	科学の大東亜共栄圏構想
小林	盾	貧困と恋愛
小林	大祐	SSP2022調査の実査過程と回収状況について
小松	洋	環境意識は交通選択に影響を与えうるか？
小宮山	智志	検索キーワードの共起分析による「健康意識」の変遷についての探索的研究
近藤	和都	アニメと場所の社会学 (3)
齋藤	圭介	中絶をめぐる医療・社会 (4)
齋藤	僚介	Affect Misattribution Procedureを用いた潜在的態度の測定とその有効性
酒井	千絵	両立支援と管理職昇進支援のパラドックス
坂口	真康	「和解」に関する歴史教育の一考察
佐川	祥予	実践コミュニティへの参入と自己
佐川	宏迪	ゲストハウスを成り立たせるもの
崎濱	佳代	沖縄社会と南米系日系人が「共有する」エスニック・アイデンティティのダイナミズム
作田	誠一郎	少年院のイメージと変化に関する一考察
佐々木	尚之	配偶者票の有無はセレクションバイアスを引き起こすのか？
佐藤	彰彦	原発事故からの復興における富岡町民の生活と将来に関する意識調査(1)
佐藤	圭一	社会ネットワークの特性と権力配分問題
佐藤	典子	フランスの新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) 拡大下における政策と医学生・看護学生の困難と世代間ギャップ
里村	和歌子	立場の異なる女性同士の連帯とインターセクショナリティ
佐野	敦子	中絶をめぐる医療・社会 (1)~(4)
澤井	志保	グローバル・サウス女性による国際的社会企業？
澤田	真一	丸山眞男「古層＝執拗低音」論の構造についての一考察
澤田	雅斗	おくすりは人の生に何をもたらすのか
三田	絵里加	人口減少社会におけるソーシャル・キャピタルの活用可能性と限界
塩谷	昌之	デジタル・データをどのように観察するべきか
篠原	清夫	マンガからみる養護教諭へのまなざし (2)
SIM	CHOON KIAT	ハピネスの視点からみるシンガポールの少子化と教育
下窪	拓也	COVID-19感染拡大第8波発生の責任帰属対象を規定する要因の検証
周	玉琴	中国農村における土地資本化と「関係guanxi」
周	筱	「子どもの性」から「子どもと誰かの性」へ
庄司	貴俊	原発被災地で漁師が操業に積極的な理由
白井	望人	ゲイコミュニティにおける「女性との結婚」をめぐる対立関係
白川	俊之	ジェンダー差からみた大学に進学する理由と専攻分野の選択
白波瀬	佐和子	資産の世代間継承
申	在烈	テレワークと労働条件の関係に関する日韓比較研究
菅野	摂子	中絶をめぐる医療・社会 (3)
杉尾	智子	地方都市における地域産業を支える外国人労働者
杉野	勇	確率的オンラインパネル構築の試み(1)
杉山	怜美	アニメと場所の社会学 (2)
鈴木	恭子	インフォーマル雇用に立ち向かう社会政策の構想 2) 自営であることの意味

姓	名	題目 (Main Title)
強谷	幸平	近代建築の遺産化過程におけるアクターとしての専門家
清家	久美	〈認識論／実在論〉の視点から見る現代的実在論の検討
妹尾	麻美	「曲がり角の時代」における若者の再帰的ライフスタイル(6)
孫	嘉瑞	中国人女性の両立に影響する要因について分析
高岡	聖奈	1960年代から1980年代における若者文化再考
高木	俊之	それからのマッキーヴァー
高木	竜輔	原発事故からの復興における富岡町民の生活と将来に関する意識調査(2)
高瀬	久直	男女間賃金格差の公表をめぐる政策形成過程に関する若干の検討
高橋	典史	都心部団地におけるコミュニティの衰退と多文化共生の課題 (1)
高橋	幸	「効率のいい恋愛」という新たな経験の諸相
高山	龍太郎	土佐町教育支援センターと主体的な不登校
武内	保	アルヴァックス記憶理論における記憶作用と意志の関係について
竹内	麻貴	インフォーマル雇用に立ち向かう社会政策の構想 3) 自営は育児と両立しやすいのか
武田	尚子	都市環境の再編成と水害リスク
辰巳	智行	ポスト/ウィズコロナ禍におけるイベント参加者の意識と行動変容
伊達	平和	性役割意識項目における回答選択理由の内容分析
田中	慶子	親子の情緒関係の世代間連鎖
田中	重好	「復興の最適解」という問い
田中	美彩都	家族変動に関する議論の日韓比較 (3)
樽本	英樹	東アジアにおける移民と市民権
丹治	恭子	乳幼児施設の機能拡大とその背景
崔	昌幸	テイラー／ハーバーマス論争
茅野	恒秀	地域社会における御柱祭の担いの構造
塚崎	裕子	地方圏における外国人労働者の受け入れ(2)
塚田	穂高	高校公民系教科書における社会学者の関わり
辻	泉	「曲がり角の時代」における若者の再帰的ライフスタイル(1)
辻	竜平	御柱祭への参加を促すソーシャル・キャピタルの効果
都島	梨紗	新居浜太鼓祭りはどうのように次世代に継承されているか
筒井	久美子	海軍甲種飛行予科練習生制度の「中途半端さ」をめぐる旧制中学生の対応
筒井	淳也	晩婚化に伴う出会いと結婚理由の変化
堤	圭史郎	ホームレス問題における認識と制度化
出口	杏奈	日常・災害時におけるジェンダー構造はいかに連続／断絶しているか
寺島	拓幸	ソーシャルメディアは他者指向消費を助長するか
寺林	暁良	重層的な地域コミュニティとつながる滞在者コミュニティ
土井	智義	米国統治下の琉球列島における入管制度の歴史社会学
轟	亮	確率的オンラインパネル構築の試み(3)
苫米地	なつ帆	子育て支援における世代間連鎖の実態とその背景
鳥居	勇氣	職業的地位による現代日本人の精神的健康の規定因の差異
中河	伸俊	佐藤問答論と社会問題の構築主義
長野	慎一	身体的実存と法の接触
中溝	一仁	調査項目としての「生活満足度」と「主観的幸福感」の違いについて
中村	真理子	未婚者の学歴と性交渉経験
中村	真由美	女性管理職が少ない企業
中村	三緒子	保育者養成における保育者の質向上に関する考察
中山	慎吾	福祉従事者の仕事における直接的経験の意味についての考察
永山	理穂	美容産業従事者は「美のシステム」といかにかわるのか

姓	名	題目 (Main Title)
那波	泰輔	雑誌『思想の科学』休刊をめぐる人びとの営為
新倉	貴仁	現代社会論の課題としての「制御」
二階堂	裕子	地方都市における地域産業を支える外国人労働者
二階堂	祐子	中絶をめぐる医療・社会(2)
西村	由実子	淡路島の生産年齢層のソーシャル・キャピタルの認識
日戸	浩之	高齢者のウェルビーイングと死生観をめぐる調査研究
丹羽	宣子	現代日本仏教への家族社会学的接近に向けて
布川	由利	進路選択における「意思・意欲」を再考する
魯	ゼウオン	在日コリアン団体の存続可能性と朝鮮通信使の意味
野入	直美	沖縄における引揚げと軍雇用
野上	元	平和・安全保障をめぐる社会意識調査における方法論上の留意点
野口	友康	「犠牲のシステム」としての予防接種施策
野島	那津子	「論争中の病」の当事者における生計・労働・ケア
野邊	政雄	メルボルンの高齢女性の子どものときょうだいの居住場所
野辺	陽子	家族変動に関する議論の日韓比較(1)
野村	恭代	医療コンフリクト・マネジメントの実態と課題
長谷川	拓人	ヤングケアラーとハウジング
長谷川	翼	地方圏における外国人労働者の受け入れ(4)
長谷部	美佳	在日カンボジア人コミュニティの変容から見る「国フェス」の意義
服部	恵典	アダルトビデオからビデオ史を逆照射する
華	爽	地方都市における地域産業を支える外国人労働者
早野	禎二	北海道浦河町「べてるの家」の治療文化の形成過程とその特徴
原田	豊	遠隔会議用自動翻訳システムを用いた複数言語対応授業の試み
バラニャク平田	ズザンナ	Belonging, Geographic Spaces and Theatre Fans: A Case Study of Takarazuka Revue Fandom
樋口	あゆみ	意味編成としての組織
平石	貴士	音楽空間の構築をめぐる差異化する音楽と偏在化する音楽をどう捉えるか?
平川	全機	東日本大震災からの生活再建の複線の経路をたどる
平野	浩	相対的剥奪感と成功要因認知が人々の正義観に及ぼす影響
廣澤	美花	ブライダル業界におけるコロナ禍のコミュニケーションの工夫
廣嶋	清志	明治戸籍法の六ヶ年目改製はなぜ六年毎改製と誤解されるのか?
廣本	由香	八重山・石垣島の運動文化
福井	康貴	職業教育訓練における組織間連携の活性化
藤井	亮佑	モノからの死への社会的アプローチ
藤澤	三佳	アート表現、他者との関係、よみがえる生
藤田	哲司	「万人対等主義としてのコスモポリタニズム」と知識のベーシックインカムとしてのWikipedia
藤田	智博	女性割合の少ない職場へと至る女性のキャリア選択と職場経験の質(1)
藤原	翔	教育への介入によって出身階層による到達階層の差はどの程度減少するのか
藤本	篤二郎	インターネット掲示板における性的節制言説の論理
藤本	一男	カテゴリーカル・データに対する構造化データ解析(SDA)と帰納的データ解析(IDA)
二方	龍紀	「曲がり角の時代」における若者の再帰的ライフスタイル(2)
船戸	修一	中山間地域における住民活動と自治会運営の再編
不破	麻紀子	自営業と家事労働
婁	智恵	韓国の有配偶男女におけるウェルビーイングーコロナ禍の東アジア(2)
平安名	萌恵	「自治の感覚」とジェンダー
宝月	理恵	結核患者の自己形成について
保坂	稔	ドイツの再生可能エネルギー事業推進の理念

姓	名	題目 (Main Title)
干川	剛史	東日本大震災被災地（気仙沼市・南三陸町）の観光振興を目指して
ボンサビタックサンティ	ピヤ	アジアのテレビ広告におけるジェンダー役割
本田	宏治	「逸脱のレジャー化」と「レジャーの逸脱化」
前田	益尚	ポスト環境学序説
前田	尚子	1930年代の「米と人絹織工」農家における世帯内分業戦略
牧野	修也	コロナ禍における地域祭礼の中止と再開
牧野	智和	「曲がり角の時代」における若者の再帰的ライフスタイル(7)
眞住	優助	地方圏における外国人労働者の受け入れ（3）
俣野	美咲	祖父母への支援が親から成人子への支援に及ぼす影響
松井	拓海	戦前日本における人口・国家・社会
松田	茂樹	日本の若者の結婚抑制
松谷	満	インターネットと感情的分極化
松永	伸太郎	アニメと場所の社会学（1）
松元	圭	双極性障害患者の感じる理解のされなさ/されにくさ
真鍋	一史	Schwartzの文化的レベルの価値観理論の批判的検討
馬渡	玲欧	廃棄物処分地の「原状回復」をめぐる国立公園の位置づけと風景認識
MICHALOVA	ZUZANA	Un-making of Modified Self
水川	喜文	体験を「語る」ことのない、体験の共有としての「定式化」
水原	俊博	多様化する消費文化のICT/デジタル消費に対する効果
三隅	一人	災害の累積から社会経済的脆弱性をみる
光野	百代	地域社会と共生の課題とのつながりを探る
宮前	健太郎	「コレラ絵」の社会学的解釈
麥倉	哲	渡嘉敷島における集団死の場所へ行かなかった人びと
麦山	亮太	高等教育機関の地理的配置の変化と進学行動のジェンダー不平等
村上	一基	都心部団地におけるコミュニティの衰退と多文化共生の課題（2）
村瀬	洋一	日本の新型コロナ禍における自粛意識とワクチン意識の規定要因
望月	美希	「ふるさとを失う」ということ
森	直人	「貧困化の過程」はいかにして「語られたもの」になっているか
森	泰規	「趣味と主観的幸福度の関係」その経時的推移
柳下	実	生活時間の裁量の多寡に男女差はあるのか？
保田	時男	家族形成期における意識変化のパターンと階層差
柳田	愛美	正規雇用共働き希望の未婚男女における結婚後のワーク・ライフ・バランスと職業キャリアをめぐる想定
山岸	諒己	「反抗期」の概念分析
山口	賢一	Controlling Opium Habits with Provisional Measures
山下	香	展覧会が可視化した手芸と婦人との関係
山下	泰幸	現代フランスにおけるイスラーム・フェミニズムとバックラッシュについて
山本	薫子	原発事故からの復興における富岡町民の生活と将来に関する意識調査（5）
山本	佳奈	都心部団地におけるコミュニティの衰退と多文化共生の課題（3）
山本	英弘	抗議イベントデータによるポスト3.11の社会運動の動態に関する考察
横山	麻衣	ジェンダー化された仕事における職務と賃金の不均衡
横山	智樹	原発事故からの復興における富岡町民の生活と将来に関する意識調査(3)
吉岡	洋介	2022年「暮らしと政治についての意識調査」の調査概要と基礎分析
吉田	崇	社会階層・子育て実践の世代間連関と教育達成
吉田	舞	空間と労働の交差的インフォーマリティ
吉野	英岐	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究2023（4）
李	萌	外国人技能実習生の「合目的的行為」

姓	名	題目 (Main Title)
陸	麗君	中国系住民の集住と地域社会
劉	語霏	ジェンダー平等の視点からみる台湾のウィズコロナ時代における少子化のジレンマ
柳	煌碩	家族変動に関する議論の日韓比較 (2)
RUDOLPH	NATHANAEL	SARS-CoV-2 Vaccination Hesitancy and Susceptibility to Misinformation
若林	千夏	相談支援専門職に中途参入した女性のライフコース
渡邊	勉	戦後沖縄引揚者の職業の共通性と多様性
Adam	Chorynski	Urban resilience: factors contributing to vulnerability to meteorological risks of Polish towns in the context of revitalization processes
Christian Ezekiel	Mananis Fajardo	The Roles, Relationships, and Responsibilities of Fathers
KITSNIK	JOANNA	A Revolution in Consciousness? Changes in Environmental Attitudes in Japan and Germany
Kim	Tae-Seok	Closing the Decarbon Gap: When Do Firms Promote Climate-Change Mitigating Technology?
MITCHELL	Andrew Neil	Revisiting the 2016 Kumamoto earthquakes